



学校だより

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和7年7月1日

大田区立糎谷中学校

校長 佐藤 太 No. 4

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

未来をつくる「自ら考える力」

校長 佐藤 太

暑さの厳しい7月となります。定期考査の結果も返却され、1学期も残り15日となりました。これまでの学習や活動の成果を振り返り、健康に気をつけながら1学期を締めくってください。

さて、今の私達の社会は、デジタル技術やAI（人工知能）が、猛スピードで進んでいます。情報化社会の中でニュースサイトやSNSを通じて、瞬時に世界中の情報にアクセスできる一方で、情報があふれ、誤った情報に惑わされる危険にも出くわします。人間が行ってきた仕事や作業は、AI技術に取って代わり、社会や生活に欠かせない存在となっています。

特にAIは、翻訳や文章・絵画・作曲などの作成や医療分野での画像解析、天気予報や経済動向など大量のデータ分析によって未来を予測して影響を与えています。私もよく使うiPhoneやPrime Videoでは過去に見た履歴等から自動的に示される推薦コンテンツや質問に答えてくれる音声アシスタントのサービスを利用しています。しかし、沢山の情報が得られ、人間が行ってきた多くのことがAIに変わる社会が来ても、人間にしかできないことを私達は大事にしながら、この先も学んでいかなければなりません。

その大事なことは、①情報を正しく判断すること②自分で「考えること」「感じること」③つながることだと私は思います。AIは与えられた情報をもとに答えを出すのが得意ですが、新しいアイデアを出したり、人の気持ちを理解したりすることは苦手です。ですから、これからの情報化社会、AI時代を生きる皆さんには、次のことを大切に、日々の中で、一生懸命に学んでほしいと願っています。

① 情報を取捨選択する力（判断力） 様々な情報を得ることが簡単な社会ですが、それらを吟味し、正しい情報、必要な情報を選び取る力を身に付けることが必要です。一方的な情報に流されずに判断する力や公的な見解など情報源を調べ、情報を適切に選び取る力を身に付けてください。

② 自分で「考えること」 自分で「感じること」 AIは与えられたデータから答えを出すのは得意ですが、全く新しい発想や視点をもって創造性・独自性のあるものを生み出すことは出来ませんし、AIの答えが正しいとも限りません。環境問題や平和・福祉の課題に取り組むとき、社会には正解が一つではない問題が沢山あるからです。「どうしてこうなるのだろう」「もっと良い方法はないか」と自分で考えることや自分なりの疑問を持って追究することが大切です。また、これまでの経験で得たものを組み合わせたり、感覚を統合して新しい物を創り出したりする視点も大切です。音楽や文学など人間の感情や想像力から生み出される芸術や文化を創っていく力も人間特有のものであります。

③ 周りの人とのつながりを大切にすること AIがどんなに進化しても、人間同士の心をつながりを作ることはできません。友達、家族、先生、地域の人々と共に考え、話し合い、協力する中で、新しい発見や解決策が生まれます。人間同士の温かなつながりや共感する力、そして相手の意見を尊重し、気持ちを理解する姿勢が、人間らしい「つながる力」を育むためには鍵となります。

どのような社会になろうとも「情報を正しく判断する力」や「自分で考える力」、「人とつながる力」を身に付けていくことは、自分の未来をつくり、より良い人生や社会を切り開いていくことにつながります。そうでなければ、逆に情報やAIに振り回される生活になります。どのような時代になっても変わらない人間としての基本的で普遍的な力、必要な力を日々の生活や学校でしっかり身に付けよう。

※ 保護者の皆様、毎日暑い中、お子様の健康管理を有り難うございます。7月もよろしくお祈りします。地域の皆様にはこの夏、祭礼や地域の活動で生徒達がお世話になります。よろしくお祈りします。

